

【西区】令和7年第2回区づくり推進横浜市会議員会議

令和7年6月11日(水) 15時30分開始
西区役所3B会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

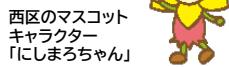
3 議 題

- (1) 令和7年度 西区運営方針について
- (2) 令和7年度 西区主要事業の進捗状況について
 - ア 「にこやか しあわせ くらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進
 - イ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - エ 子育て支援の推進
 - オ 地域連携推進・回遊性向上事業
 - カ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - キ スポーツ振興事業
 - ク 藤と季節の花がつなぐまちづくり事業
 - ケ 西区 みんなでエコアクション! 推進事業
 - コ 地域防災活動推進事業
- (3) 西区に係る予算のすがた

【参考】西区における開発動向等

4 会議報告書の作成

5 閉 会



西区のマスコット
キャラクター
「にしまろちゃん」

令和7年度 西区運営方針

GREEN
×
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

I 基本目標

つながりを大切に 誰もが にこやか しあわせに くらせるまち 西区

昨年の西区制80周年を通じて育まれたつながりを生かし、地域・企業・団体の皆さまと協力しながら様々な取組を行います。

今年は西区の総合的な計画である西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)の第4期計画が最終年度を迎えます。現在の計画を着実に推進するとともに、令和8年度から始まる第5期計画を地域の皆さまと策定していきます。

GREEN×EXPO 2027の機運醸成や脱炭素化に向けたライフスタイルをPRとともに、横浜の玄関口である横浜駅の美化や環境改善にも取り組みます。また、こどもたちが健やかに成長できる地域づくりと切れ目のない子育て支援、認知症や障害への理解促進に向けた取組を行い、あらゆる世代の皆さまが生き生きと暮らせるインクルーシブな社会の実現を目指します。さらに、激甚化する自然災害への対策や警察と連携した防犯対策等を推進し、安全・安心なまちづくりにも尽力します。



掃部山公園から望むみなとみらいの風景

II 目標達成に向けた施策

80周年で育まれたつながりを生かし、取組を推進 GREEN×EXPO 2027の機運醸成

1 地域のつながりづくり

2 いきいきと健やかに
暮らせるまちづくり

3 まちの回遊性向上と
にぎわいづくり

4 安全・安心なまちづくり

横浜市中期計画 2022～2025

III 目標達成に向けた組織運営 ~区民の皆さんに寄り添う区役所づくり~

1 お客様の立場に立った区民サービスの提供

窓口では、区民の皆さんを笑顔とあいさつで温かくお迎えします。傾聴を第一に、丁寧で分かりやすい説明を心がけ、正確で的確なサービスを提供するとともに、適切に業務を行います。また、区民の皆さまの目線に立ち、多媒体を活用した「伝わる」広報をはじめ、区民の皆さまの利便性向上等に取り組みます。

2 つながりを生かした効果的な事業推進

地域・企業・団体との協働による地域課題の解決・支援を推進します。連携の中で、区民ニーズを的確に把握し、取組を実施します。また、事業の効果・達成度を検証し、区民の皆さまが効果を最大限実感できるよう、取り組みます。引き続き、デジタルツールやDXを活用した地域の負担軽減・連携強化を進めます。

3 『チーム西区役所』の強化

人材育成や風通しのよい職場づくりに加えて、協働、共創、チームイノベーションを創出する職場環境の実現と働き方改革を進めるとともに、歳出見直しに向けて取り組みます。また、各課の連携を強め、『チーム西区役所』として総合力を発揮し、区民満足度の向上に努めます。

主な事業・取組については、次ページをご覧ください⇒

1 「にこまちプラン」を推進し、地域の皆さんとともに課題解決に取り組みます

- ・令和7年度は「にこまちプラン」の第4期計画(令和3~7年度)の最終年度であり、区制80周年で育まれた地域の皆さんのつながりを生かしながら、引き続き現行の計画を着実に推進します。
- ・第4期計画の振り返りで挙げられた、地域を支えるリーダーや担い手の高齢化・人手不足等の各地区共通の課題を踏まえながら、地域の皆さんがともに支えあうまちを目指し、地域や関係機関等と一緒に、第5期計画(令和8年度~)を策定します。
- ・地域活動の充実につなげるため、「にこまちフォーラム」を開催します。また、小学校への出前講座等の「子ども向け啓発」を通じ、子どもたちやその親世代の地域参加を促し、新たな担い手の発掘・育成に取り組みます。



にこまちフォーラム

2 地域活動を支援し、協働によるまちづくりを進めます

- ・自治会町内会をはじめとして、地域で活動する様々な団体と連携し、より良いまちづくりを進めます。
- ・自治会町内会と行政とのコミュニケーション手段として、デジタルツールを活用した情報共有を行い、地域の負担軽減・連携強化を図ります。
- ・野毛山地区をこれまで以上に誰もが分け隔てなく学び、楽しみ、安らげるエリアとなるよう、「のげやまインクルーシブ構想」の実現に向けて、地域や関係機関との連携を強化し推進します。

3 「学び」の機会や実践する場をつくるとともに、地域の「つながり」の輪を広げる支援を行います

- ・「西区今昔かるた」を使ったイベントや中央図書館と連携した読書活動の推進を通じて、歴史・文化などあらゆる視点から西区について学び、魅力を再発見する機会をつくり、地域に愛着を持つきっかけとします。

4 区内の大学・企業・団体と連携し、地域課題解決を図ります

- ・地域課題解決に向け、連携推進協定を締結している神奈川大学をはじめ、企業、団体と連携強化を図ります。

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

中期計画 テーマ 01 子育て世代への直接支援

中期計画 テーマ 02 コミュニティ・生活環境づくり

1 子どもたちが健やかに成長できる地域づくりと、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援を行います

- ・子育て家庭が地域で孤立することなく、安心して子どもを産み育てられるよう、「プレパパママクラス」や「赤ちゃん教室」、新たに実施する「プレパパ向け」の講座などを実施し、夫婦で取り組む子育てを学ぶ機会や仲間づくりの場を提供します。
- ・幼稚園・保育園や地域子育て支援拠点などが連携し、育児講座を行うなど、安心して子育てができる地域づくりに取り組みます。また、子育て世帯がより手軽に情報を得られるよう、「パマトコ」の活用やオンライン上の動画配信等を行います。
- ・地域の中で学齢期の子どもたちが健やかに成長できるよう、小中学生への危機管理教室や中学校いのちの教室、放課後事業に携わる職員の人材育成研修、西前小学校における朝の居場所づくりモデル事業などの取組を進めます。



地域の親子に向けた育児支援の様子

2 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう取り組みます

- ・オンラインツールを活用した効果的な広報等により、高齢期における社会参加等の重要性の理解を進めるほか、「ころばんよ体操」や介護予防リーフレット「お元気活動応援マップ」などを活用し、区民の健康づくりや介護予防に取り組みます。
- ・幅広い世代に向けた認知症センター養成講座の開催や、気軽に脳の健康チェックができる機会づくり等を行うことで、認知症に対する理解を深め、認知症との共生と早期対応の機運づくりを進めます。

3 障害のある人も住みやすい環境づくりを進めます

- ・イベントや広報媒体等を通じて、区民に障害への理解を深める取組を進めます。また、地域防災拠点訓練等を通じて、障害者に対する災害時の支援や配慮への理解の取組を進めます。
- ・施設や病院から地域生活への移行や住宅の確保に向け、一人暮らしを体験できる生活体験事業を継続し、並行して居住支援関係機関等に働きかけを行います。



障害者施設利用者の作品展示

4 健康づくり啓発や健康情報の発信に取り組みます

- ・生活習慣病の予防の取組のほか、親子で参加できる歯みがき教室を行うなど、将来を担う子ども及び働き・子育て世代の健康づくりにも力を入れて取り組みます。

1 GREEN×EXPO 2027 の機運醸成や、脱炭素化に向けたライフスタイルを PR します

- ・2027年に開催するGREEN×EXPO 2027について、様々な場面でPRします。
- ・脱炭素など環境に配慮した具体的な取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけづくり、子どもたちが作成したSDGsに関する作品のパネル展を開催します。



区庁舎前のバス停看板でPR

2 地域資源を活用して、回遊性向上に取り組みます

- ・花と緑や史跡等をはじめとした地域資源、まち歩きルート「温故知新のみち」を活用し、区内の回遊を促進します。

商店街を巡る
スタンプラリー冊子**3 商店街等と連携したイベントを実施し、地域経済の活性化を図ります**

- ・商店街を巡るスタンプラリーを開催し、商店街の誘客促進を図り、まちの賑わい創出につなげます。また、区内の商店街の様々な魅力を市民目線で発掘・発信していく機会として、フォトイベントを開催します。

4 西区民まつりを通じて、地域の活性化を図ります

- ・50回目となる西区民まつりを開催し、顔の見える関係づくりや情報発信の機会を増やすことで、地域の交流や活動の活性化を図ります。

レーシング用車いす
試乗体験の様子**5 伝統文化に触れあう機会を創出し、地域交流を促進します**

- ・「西区虫の音を聞く会」や小学生を対象とした「能と狂言の出前講座」を実施し、区内に地域の伝統文化に触れる機会を提供します。

6 身近な場所で誰もがスポーツに親しめる機会をつくります

- ・年齢、障害の有無等に関わらず楽しめるインクルーシブスポーツを含む体験の場の提供、ウォーキングイベント等を通じ、誰もがスポーツに親しめるよう働きかけます。

7 まちの緑化を通じて地域のつながりづくりを進めます

- ・区民が身近に花や緑を感じられるよう、公園愛護会や小中学校等と協働し、公園や学校の花壇への花苗植えを行います。また、公園藤棚の再生に向けて維持管理を行うとともに、ご家庭でも育てられる鉢植え藤(一才藤)の管理講習会を開催し、区民に「藤」をより身近に感じてもらえるような取組を推進します。

安全・安心なまちづくり

1 地域・区本部の防災機能の強化とともに、自助・共助の取組を進めます

- ・「新たな横浜市地震防災戦略」の方針に基づき自助・共助・公助の取組を一層推進します。地域防災拠点の運営・訓練支援を行うとともに、医療機器を使用している方が停電時にも充電できるよう各拠点へ発電機の配布を継続するなど、誰もが安心して避難できる体制が構築されるよう支援します。
- ・区本部における各種訓練(震災・風水害等)を実施します。
- ・感震ブレーカー、初期消火器具の設置を促進し震災対策を強化するとともに、崖地相談会の開催や、河川水位情報伝達システムの更新により風水害対策を強化します。

稻荷台小学校地域防災拠点
訓練の様子**2 防犯力の強化に向けた取組や地域の交通安全対策を推進します**

- ・地域の皆さまが安心して暮らせるよう、広報よこはまでの情報発信や地域と連携した防犯パトロール等、地域の防犯力を向上させます。また、子どもたちの安全確保のため、関係機関と連携した通学路等における交通安全対策の実施や、交通安全教室を開催します。

3 ごみの資源化・減量の啓発や清掃活動等を通じてきれいなまちづくりを推進します

- ・「ヨコハマ プラ5.3(ごみ)計画」の達成、脱炭素社会の実現に向け、令和7年4月から変更したプラスチックごみの分別ルールや使い捨てプラスチックの削減等を啓発します。また、引き続き、ごみ減量、リサイクル推進、ごみの分別等を区民、事業者に働きかけていきます。
- ・きれいなまちづくりを推進するため、地域の皆さまや学校・企業等と連携した清掃活動、ポイ捨て対策を実施します。
- ・GREEN×EXPO 2027の開催に向け、来街者の増加が見込まれる横浜駅周辺において、地域や事業者の皆さまと協働し、美化・環境向上に取り組みます。

横浜駅をきれいに！キャンペーン
(横浜駅周辺での清掃活動)

区民の皆さんに寄り添う区役所を目指して

総務課

チーム西区役所を支えます。快適で親しみやすい区役所づくりを推進するとともに「新たな横浜市地震防災戦略」の方針を踏まえ、災害対策の取組をより一層強化します。また、選挙事務や統計調査を適正に進めます。

税務課

公平公正で適切な賦課業務を行うとともに市税収入の安定的な確保と税負担の公平性の実現のため、適切な徴収事務を進めます。区民の皆さんに寄り添いながら、分かりやすく、丁寧に説明することを心掛けます。

こども家庭支援課

地域や関係機関の皆さんと連携して、こどもとその家庭を妊娠期から切れ目なく支えます。一人ひとりきめ細やかな支援を大にし、安心して出産・子育てができ、こどもたちが健やかに成長できる地域づくりを進めます。

戸籍課

皆さまの生活の根幹をなす戸籍簿・住民基本台帳等の適正な管理を徹底するとともに、親切・丁寧でわかりやすい窓口対応を行います。また、マイナンバーカードを利用した手続の推進と円滑な交付・更新手續を行います。

西土木事務所

道路・下水道・公園の適切な維持管理と災害対応により、区民の安全・安心な暮らしを守ります。また、公園愛護会活動などの支援や藤の花再生にも取り組み、潤いと安らぎを感じられるまちづくりを進めます。

区政推進課

分かりやすく「伝わる」情報発信を行い、皆さまの声を地域課題の解決につなげます。また、GREEN × EXPO 2027 の機運醸成や脱炭素に向けた取組を推進しながら、魅力と活気あふれるまちづくりを進めます。

区会計室

区民の皆さまの信頼に応える、正確で迅速な会計経理事務を行います。また、窓口に来られた方や電話でのお問い合わせに対し、分かりやすく説明し、親切・丁寧で寄り添った応対を心掛けます。

福祉保健課

地域の皆さんや関係機関と連携し、最終年度となる第4期「にこまちプラン」を推進するとともに、令和8年度からの第5期計画を策定します。また、関係団体と協力し、区民の皆さまの主体的な健康づくりを推進します。

保険年金課

皆さまが安心して医療・介護等を受けられるよう、国保・介護等の保険や、国民年金について、適切かつ迅速に業務を進めます。また、安定した制度運営のため、保険料収納率の向上を図ります。

南浅間保育園

こども一人ひとりを尊重し、豊かな人間性を育む保育を行います。保育資源ネットワーク構築事業の事務局園として、様々な機関や地域の皆さんと連携して育児支援事業を行うとともに、区全体の保育の質向上を目指します。

地域振興課

自治会・町内会や商店街をはじめとした地域の皆さんに寄り添いながら、まちの魅力発信やにぎわいづくりを更に進めています。また、清潔できれいなまちづくりや安心・安全なまちづくりに取り組みます。

高齢・障害支援課

高齢者も障害のある方も、自らの暮らしを続けられるよう、寄り添った支援やつながりづくりに取り組みます。また、認知症や障害等への理解促進と介護予防の啓発を進め、誰もが住みやすいまちづくりを目指します。

生活衛生課

食中毒予防・感染症対策・動物の適正飼育を推進する取組を通じ、地域の皆さんや西区を訪れる人々の食の安全や暮らしの衛生を確保します。特に、主要駅周辺の飲食店や宿泊施設に対する衛生指導を重点的に実施します。

生活支援課

生活の不安や困りごとがある方に寄り添い、ご相談をお聴きしながら皆さまの生活を支えていきます。また、子どもたちの将来の自立に向けて、生活・学習支援事業を行い、学習できる環境づくりを推進します。

「チーム西区役所」は
資源循環局 西事務所
や西消防署、中央図書館等とも連携し、地域の皆さんと一緒に課題解決に取り組みます！



3-(2) 令和7年度 西区主要事業の進捗状況

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ くらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)
【予算額 4,396千円(対前年度比 1,927千円増)】

西区では、「にこやか しあわせ くらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、地域包括ケアシステムの構築と一緒に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和7年度は、第4期計画(令和3～7年度)の最終年度を迎えます。区制80周年で育まれた地域の皆さまのつながりを生かし、現在の計画を着実に進めるとともに、令和8年度から始まる次期第5期計画(令和8～12年度)の策定にも注力していきます。

次期計画の策定にあたっては、区全体計画、地区別計画とともに、令和6年度に実施した現行計画の振り返りを踏まえ、向こう5年間の目指す姿を見据えた計画を、地域や関連機関等と一緒に「オール西区」で進めています。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(4,396千円)【拡充】

① 「にこまちプラン」(第4期計画の推進、第5期計画の策定)

「区全体計画」については、計画の策定・推進に区役所一丸となって取り組み、重点的に進めます(府内プロジェクトチームの編成(4月))。また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」(計2回:9月19日、1月16日実施予定)や「計画策定検討会」(7月14日実施予定)を開催し、第4期計画の推進と第5期計画の策定を進めています。

「地区別計画」については、地域における様々な課題の解決に向けて、引き続き、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザによる地区支援チームが連携し、地域の取組を支援していきます。また、第5期計画の策定についても、各地区における検討を、地区支援チームがサポートしながら、地域の皆さんとともに進めています。

■参考: 第27回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会
【開催日】令和6年12月9日
【会場】西区役所3階A B会議室
【内容】第4期西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)
区全体計画の振り返り(意見交換) 等



推進評価委員会



地区別計画の検討

② 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の 広報・啓発

地域活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地区別計画の取組発表などを中心とした「にこまちフォーラム」を開催します。各地区が策定する第5期地区別計画を発表いただく予定です（令和8年2月21日実施予定）。

また、広報よこはまの特集やオリジナル啓発ノベルティの配布のほか、転入者へのパンフレット配付（4月から開始）や西区ホームページなどを積極的に活用し、地区別計画の取組を広く周知していきます。

加えて、小学校への出前講座を実施する（宮谷小学校：4月28日実施、戸部小学校：5月8日実施）など、引き続き「子ども向け啓発」を進め、子どもたちやその親世代（現役世代）の参加意識を醸成し、新たな担い手の発掘・育成につなげます。

令和6年度にこまちフォーラム



各地区の取組発表



宮谷小のミュージカル公演



防災講演会

■参考：令和6年度「にこまちフォーラム」

【開催日】令和7年2月15日

【会場】西公会堂

【内容】

第1部 ①各地区の取組発表会

第4期にこまちプラン地区別計画の振り返り

②ミュージカル「にこまちの光」

宮谷小学校6年3組の子ども達によるミュージカル

第2部 防災講演会

講師：鈴木 光 氏（一般社団法人減災ラボ 代表理事）

能登半島地震以前から被災地で続けてきた支援活動の経験を、地域防災や福祉防災に生かしている。全国紙にも連載がありご活躍中。

【参加者数】合計400名以上

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

イ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,864千円(前年度同額)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築」に向けた「西区アクションプラン」に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(891千円)

① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。また、オンラインツール等を活用した広報により、関心が希薄な方々へPRしていきます。(11月～)

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザー派遣や、有識者の講師を招聘します。

(2) 認知症等高齢者支援事業(964千円)

① 軽度認知障害（MCI）・認知症の理解、早期対応の機会づくりの促進

認知症の理解と早期対応の機運を高めるため、区民が気軽に脳の健康チェックができる機会をつくるとともに、予防につながる活動を推進し、必要な方にはもの忘れ検診等、必要な支援につなげます(通年)。

軽度認知障害と診断された方に対し、認知症予防のポイントと予防につながる活動ができる地域の居場所について紹介したリーフレットを、地域包括支援センターや医療機関等の関係機関と連携し、配布します。(通年) また、軽度認知障害（MCI）や認知症初期と診断された方の診断後支援の一環として、重症化予防に効果がある運動に取り組める機会づくりを行います。(6月～)。

② 認知症サポーター養成講座・普及啓発人材育成研修の実施（健康福祉局　区配事業含む）

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

また、認知症キャラバン・メイト(登録者数188名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(6月27日、2月予定)

(3) 健康づくり・介護予防事業(1,009千円)

① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防普及啓発の実施

(健康福祉局 区配事業含む)

西区の健康課題であるフレイル予防（オーラルフレイル及び低栄養予防）の重要性を啓発するため、東京都健康長寿医療センター歯科医師、栄養士による講演会を開催しました。（5月30日参加者150名）。



令和7年度介護予防講演会の様子

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」（登録者数21名）等の人材育成研修を開催（6月24日）し、地域における体力チェックや等の活動の充実を図ります。

地域の身近な居場所における、オーラルフレイルを切り口とした介護予防啓発を実施します。（通年）

■参考：令和7年度 介護予防講演会

「長寿の秘訣はお口にあり！？食べるチカラを守る習慣」

【講師】平野 浩彦 氏（東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長＜歯科医師＞）

本川 佳子 氏（東京都健康長寿医療センター研究所研究員＜管理栄養士＞）

【開催日】令和7年5月30日 西公会堂 ホール

【対象者】西区在住・在勤の方

③ 介護予防リーフレットの配布

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットを配布し、地域における介護予防等を促進します。（通年）



「西区お元気活動応援マップ」
西区内の介護予防に関する取組の紹介

ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額4,354千円(対前年度比 405千円増)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、障害者が自ら望む生活の選択や居住確保に向けた支援をしながら、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,557千円)【拡充】

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

地域防災拠点訓練等の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等について、ミニ講座などで啓発していきます。(3か所程度)

■参考：令和6年度地域防災拠点訓練等での障害啓発
【実施日・場所】7月23日 戸部小学校運営委員会 参加者：27名
9月1日 一本松小学校 参加者：64名
9月8日 老松中学校 参加者：79名
3月1日 浅間台小学校 参加者：27名



令和6年度地域防災拠点訓練



障害者施設利用者の作品展示

(神奈川大学みなとみらいキャンパス
エントランスホール)



障害施設紹介リーフレット「西区 Style」



障害者通所施設利用案内「にしナビ」

② 障害理解促進のためのイベント企画

障害者施設の利用者等が制作した作品の展示や事業所製品の販売を、区内障害者施設等で行います。

障害者地域活動支援センターが障害者と地域住民との日常的なふれあいの場となるよう相互に協力するとともに、適正な運営支援を行います。(通年)

地域活動ホーム等の関係機関と連携して、障害のある方と地域住民とがつながりをもてるイベントやPRを実施していきます。(通年)

■参考：令和6年度西区防災フェスタ

【実施日】令和7年2月24日(月祝)

【場所】生活創造空間にし 250名

③ 地域住民への啓発

障害理解を深める啓発活動として、障害者施設紹介リーフレット「西区style」を区民まつり等の機会で一般の方に配布します。(通年)

④ 障害者施設利用案内の配布

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。

(通年)

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(597千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時に充電ができる場所として、区内の福祉避難所 6 カ所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年 6 カ所)

③ 地域防災拠点（指定避難所）への対応

電源を要する医療機器を使用している方が災害時に充電できるように、令和 5 年度から地域防災拠点に発電機を配付して医療用充電ステーションとして整備しています。12か所の地域防災拠点のうち年間 3 ケ所ずつ配付しており、令和 7 年度末には 9 拠点への配付を完了する予定です。

また、障害当事者が地域防災拠点に避難した際に、配慮が必要な状態が分かるよう黄色のバンダナの配布を進めます。



医療用充電ステーション用発電機

■参考：令和 5 年度配付先地域防災拠点

一本松小学校、軽井沢中学校、老松中学校

令和 6 年度配付先地域防災拠点

戸部小学校、稻荷台小学校、浅間台小学校

(3) 障害者の地域生活支援事業(200千円)

障害者に対する地域生活支援の検討にあたり、必要とされるニーズの把握及び、障害者が地域の中で安心した生活を送るための企画・検討を行います。(通年)

また、障害者の地域移行や一人暮らしを円滑に進めるため、区内で一人暮らし体験ができる施設や体験事業を紹介するリーフレット「じぶんらしく、にしく」

(令和 5 年度作成) を障害当事者やその家族、支援機関等に広く配布し理解を促進します。(通年)



リーフレット「じぶんらしく、にしく」

Ⅰ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区子育て支援事業、地域の力を生かしたスクールサポート事業、西区の保育施設つながり事業)

【予算額 6,807千円(対前年度比 756千円増)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心して子どもを産み育てられるよう、プレパパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながら子どもの健やかな育ちを応援します。

(1) 西区子育て支援事業(4,532千円)【拡充】

① プレパパママクラス

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーが妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶための「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち参加ニーズの高い沐浴・おむつ交換などの体験を行う講座は、引き続き休日にも開催します。その他、委託により地域子育て支援拠点でも実施します(年6回)。

※5月10日(土) 実施：18組参加(会場：区役所)

5月31日(土) 委託実施：9組参加

(会場：スマイル・ポート)

また、7年度は、父親のより積極的な育児参加につながる知識や心構えを学ぶ機会として、新たに「プレパパ向け」の講座を開催します。父親同士がコミュニケーションをとりながら、児の成長発達や母親の心身の変化を理解し、主体的に育児に取り組める機会となることを期待しています。

※8月27日(水)、12月13日(土) 実施予定

これらの講座により、“親になる前からの支援”を充実させ、赤ちゃんの誕生を父母とともに安心して迎え入れ、一緒に子どもを育てるこの大切さを学ぶ機会としていきます。

② よちよちパパママ育児教室

母子訪問や乳幼児健診などで、赤ちゃんが泣いたときの対応や抱っこの仕方、抱っこ紐の使い方が分からず不安という相談が増加しています。そのため、初めてのお子さん(生後1か月～4か月)を持つ保護者を対象に、安全な抱っこ方法や、安心して外出できるための知識や技術の獲得を目的とした育児教室を開催します。

さらに、乳幼児期のお出かけ先などの情報提供を行い、教室終了後も親子で地域子育て支援拠点や子育てサロン等へ外出ができ、身近な場所で悩みを解決しながら安心して子育てができるることを目指します(年6回)。

※これで抱っこがしたくなる！「ぎゅっと！」

4月4日(金) 実施：4組参加

6月20日(金)、8月1日(金)、10月3日(金)、12月5日(金)、

令和8年2月20日(金) 実施予定



プレパパママクラス

③ 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で実施します（年10回×9会場）。

様々なプログラム（歯みがき、離乳食、親子遊び、子どもの救急蘇生法と事故予防、防災）により情報を提供し、初めての子育てをサポートします。



赤ちゃん教室

※4・5月実績：15回開催 計103組、218名参加

④ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校（全5校）の3年生を対象に、「中学校いのちの教室」を実施します。助産師による性教育を通じて、生徒自身が正確な知識と情報を持ち、安全な性行動を選ぶことを学ぶ機会とします。また、命の尊さを伝えることにより、自分自身も大切な存在だと感じ今後の人生において主体的に意思決定していく力を身につけることにもつなげていきます。実施にあたっては、新たに地域子育て支援拠点との連携を図ります。

⑤ その他の子育て支援の推進

子育て応援ガイドや保育施設等一覧の作成により子育て情報の発信・提供などを行います。

また、子育て世帯がより手軽に情報を得られるよう、「パマトコ」の活用やオンライン上での動画配信などを行います。（なお、手続きのオンライン化等によるニーズの減少を踏まえ、区役所1階のキッズスペースは6年度末をもって廃止しました。）



表紙



中面（抜粋）

子育てガイド（西区子育て航海図）

（2）地域の力を生かしたスクールサポート事業(1,575千円) 【拡充】

こどもたちの安全で健やかな日常を確保することを目的とし、新小学1年生を対象とした防犯ブザーの配布や小・中学生を対象とした危機管理教室を実施します。また、放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ職員を対象とした区主催の人材育成研修を新たに実施します。

※危機管理教室：5～11月に希望する小・中学校で開催予定

※人材育成研修：11～1月に区役所で開催予定



人材育成研修（イメージ）

(3) 西区の保育施設つながり事業(700千円) 【拡充】

区内の子育て関連施設が連携して、各地区に出向き、育児講座を開催します。また、保育の質のさらなる向上に向け、保育施設を対象とした研修を新たに実施します。

さらに、西区唯一の市立保育所である南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業を実施します。

※出前合同育児講座：5～11月に7地区10会場で開催予定



地域の親子に向けた育児支援の様子

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

才 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 7,146千円(対前年度比 1,809千円増)】

企業等と協働し、地域資源を活用した区内の回遊性向上を図るとともに、GREEN×EXPO 2027の開催や環境に配慮したライフスタイル等の機運を醸成します。また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取り組みを支援するとともに、身近な地域課題の解決に取り組みます。

(1) 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業(4,145千円)【拡充】

にしく緑花サポーター制度の推進や、GREEN×EXPO 2027の機運醸成、横浜駅の環境向上・美化の推進、「温故知新のみち」を活用した区内の魅力資源の周知・発信を行います。

① 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

「にしく緑花サポーター」登録団体等への花苗等の配布を通じて、花と緑のまちづくりを推進します。

また、「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し区内の回遊性を高めるほか、脱炭素化の取組を加速化させていくためにも、GREEN×EXPO 2027の開催に向けて区内の機運醸成を図ります。



GREEN×EXPO 2027のPRの様子

■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】31か所(令和7年5月末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：16か所

公共施設等 : 15か所



にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

② 横浜駅西口周辺での公民連携による美化・環境向上の推進

GREEN×EXPO 2027に向け、来街者の増加が見込まれる横浜の玄関口である横浜駅周辺において、美化・環境向上に取り組みます。地域と事業者及び行政の協働で行っている「きれいなまちづくり検討会(※1)」が、より具体的な取組ができるよう必要な経費を支援します。(下記参照) (※1)「きれいなまちづくり検討会」構成員：南幸自治会、横浜駅西口商店会連合会(横浜駅西口五番街商店会協同組合・横浜西口商和会商店街・西口幸栄商店会)、パルナード管理協議会、一般社団法人横浜西口エリアマネジメント、資源循環局、都市整備局、西区

◇行政・地域団体・企業の連携による横浜駅西口周辺の環境向上◇

横浜駅西口周辺は商業施設や飲食店が数多く立地し、国内外からの来街者が多い、活気あふれるエリアです。一方、たばこのポイ捨て、路上ごみの散乱、客引きが目立ち、清掃や防犯活動に自治会、商店街、エリアマネジメント団体の皆様が、日々取り組んでいます。



西口周辺の清掃活動

2年後のGREEN×EXPO 2027に向け、横浜駅を訪れる方が、安心して快適に滞在を楽しめるよう、新たにIoTごみ箱の運営支援や「きれいなまちづくり検討会」の活動を支援します。※予算総額：200万円 (詳細は才(1)②及び21ページケ(2)②を参照)

(3) まち歩きルートの啓発等

まち歩きルート「温故知新のみち」を活用し、区内の魅力資源を周知・発信し、区内の回遊性向上を図ります。また、区内に設置している案内サインについて維持管理を行います。

(2) 環境行動推進事業(2,021千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

① 環境行動推進の取組

脱炭素など環境に配慮した具体的な取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、区内企業と連携した参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」(7月～9月)や環境学習イベントを実施します。

② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展を開催します。

■参考：「にしくSDGsパネル展」

【実施期間】令和7年1月15日～令和7年3月11日

【事業概要】西区の若い世代が作成した絵画などの作品を展示

【会場】市庁舎及び区内4会場にて巡回展示

【参加校】7校 【作品数】62点



「にしくSDGsパネル展」
横浜新都市ビル9階

(3) 地域連携交流事業(980千円)【拡充】

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、地域活動の支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、地域と行政間のコミュニケーション手段として、デジタルツールを試行的に活用します。引き続き、包括連携協定を締結した神奈川大学との連携強化を図ります。

① 西区地域づくり大学校修了生支援補助金

西区地域づくり大学校の修了生が地域活動を円滑にスタートできるよう、最大3年間の補助金交付を行います。

② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するために、まちづくりアドバイザーを派遣します。

③ 地域と行政の情報共有プラットフォームの試行

主に自治会町内会と西区でデジタルツール(LINEWORKS等のアプリ)を活用した情報共有を行い、地域の負担軽減・連携強化を図ります。

④ 神奈川大学との連携

神奈川大学との包括連携協定に基づき、地域の課題解決やSDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めていきます。

■参考：神奈川大学との連携実績例

令和6年度：

①地域大修了生による学生向けワークショップの実施（6月）

②神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト（6月～12月）

③西区在住シニア層へのインタビュー実習にシニアを派遣協力（12月）



学生による西区在住シニア層
へのインタビュー実習

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力を情報発信することで“まちのにぎわい”を創出します。

(1) 西区商店街スタンプラリー事業(2,360千円)

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「商店街を巡るスタンプラリー」を開催し、商店街や個店への誘客促進を図り、併せて、まちの賑わい創出につなげます。

事業実施にあたっては、開催期間等を含め、西区商店街組合連合会と連携して進めます。(10月ごろ実施予定)

■参考：令和6年度実施内容

事業名：西区ぱくぱく&てくてくスタンプラリー

実施期間：8月19日（月）～9月30日（月）

対象店舗数：172店舗

12商店会：152店舗
横浜西区LOVEWalker掲載：20店舗

応募件数：1,536件（総スタンプ数：3,880個）

【参加者からの主な声】

- ・普段行かない店に行ったり、スタンプをもらうために500円以上の商品を購入したりするので、少し財布の紐がゆるくなります。
- ・最近忙しくネットスーパーを多用していたが、休日に子どもと商店街を歩いて買い物をする良い機会になりました。
- ・お店の人たちとの会話も弾んで楽しかったです。



スタンプラリー冊子(令和6年度)



専用アプリ不要。
二次元コードを読み取ってスタンプを貯めます。

デジタルスタンプラリー

(2) 西区情報発信事業(550千円)

西区内の商店街の様々な魅力を市民目線で発掘・発信していく機会として、フォトイベントを開催します。商店街にまつわる写真を募集し、撮影のために商店街を訪れる機会を増やすことで商店街の活性化を図り、まちの賑わいづくりにつなげます。

■令和7年度実施概要

事業名：西区商店街フォトコンテスト

募集期間：8月1日（金）～9月30日（火）

募集テーマ：「ここがおすすめ！！西区商店街の魅力」

応募資格：プロ・アマ問わず、西区商店街に愛着のある方



(作品イメージ)

平成30年度西区フォトコンテスト受賞作品

キ スポーツ振興事業

(地域振興課)

【予算額 4,339千円(前年度比 300千円減)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

また、ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層がスポーツを通じて地域に愛着を持つ機会を創出します。

(1) トップスポーツチームとの連携 (180千円)

横浜市のトップスポーツクラブと「区民DAY」を開催することで、区民へのプロスポーツの観戦機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

■令和7年度開催予定事業

横浜FCにし区民DAY ホームゲーム優待・招待

【開催日】9月27日（土）または28日（日）

【対象者】調整中

※横浜F・マリノス、横浜エクセレンス及び横浜キャノンイーグルスについては調整中

■参考：令和6年度開催実績

①横浜DeNAベイスターズ（野球）

【開催日】令和6年5月30日、6月4日、5日、6日
(いずれも横浜スタジアム)

【当選数】693人※全日程合計

②横浜FC（サッカー）

【開催日】令和6年6月1日（ニッパツ三ツ沢球技場）
【来場者】534人

③横浜F・マリノス（サッカー）

【開催日】令和6年10月18日（日産スタジアム）
【来場者】130人

④横浜エクセレンス（バスケットボール）

【開催日】令和7年1月10日、11日（横浜武道館）
【来場者】166人※2日間合計

⑤横浜キャノンイーグルス（ラグビー）

【開催日】令和7年2月8日（ニッパツ三ツ沢球技場）
【申込総数】2,565名（2区（西区・神奈川区）合計）

⑥横浜ビー・コルセアーズ（バスケットボール）

【開催日】令和7年3月29日（横浜国際プール）
【申込総数】24名



にし区民 DAY (横浜 FC)

(令和6年度)



にし区民 DAY (横浜エクセレンス)

(令和6年度)

(2) インクルーシブスポーツの推進（1,184千円）

西区民まつりにおいて、インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

開催予定日：令和7年11月2日（日）

開催場所：西前小学校体育館

■参考：令和6年度実績

【開催日】令和6年11月10日（日） 西前小体育館

【参加者数】約3,830人（延べ人数）

（種目別参加者数）ボッチャ：830人

風船バレー：1,040人

レーシング用車いす体験：920人

車いす走行体験：1,040人

【協力団体】横浜市スポーツ協会、さわやかスポーツ普及委員、

横浜ラポール、バセル、スポーツ推進委員、青少年

指導員、西スポーツセンター



レーシング用車いす試乗体験の様子
(令和6年度)

(3) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(2,200千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区ハマのウォーキングフェスティバル実行委員会」の主催により、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルを令和7年11月30日（日）に実施します。

■参考：第18回西区ハマのウォーキングフェスティバル

【開催日】令和6年12月1日（日）

【参加者数】1,270名

【コース】大さん橋コース（長距離/約8km）

ドックヤードコース（短距離/約4km）



ゴール会場（臨港パーク）（令和6年度）

(4) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

ク 藤と季節の花がつなぐまちづくり事業

(西土木事務所)

【予算額 5,000千円(対前年度比 2,783千円増)】

西土木事務所管理の10公園には藤棚が設けられているなど、区内には町名にも使われている「藤」の木が多く、西区の地域資産となっていますが、春の開花時期に花が咲き広がらない藤棚も存在します。公園藤棚の再生に向けた適切な維持管理は継続しつつ、ご家庭でも育てられる鉢植え藤（一才藤）に関する管理講習会を専門家に委託して開催することで、区民の方に「藤」をより身近に感じてもらえるような取組を推進します。

また、西区では市街化の進展によって緑が少なくなっていますが、その中で残された大規模な公園や緑地とともに、身近にある公園は区民が緑を感じることのできる貴重な場となっています。花壇を有する区内の公園に対し、季節感のある花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことで地域のつながりを形成しつつ、「公園のまちヨコハマ」を推進し、GREEN×EXPO2027の機運醸成を図ります。

(1) 藤の花再生・拡充の推進(1,201千円)【拡充】

① 公園藤棚の再生・維持管理

藤棚において、花を一面に咲かせるには適切な維持管理が必要です。中でもツルの誘引、花芽を意識した冬の剪定は開花に必要な重要な作業となることから、土木事務所における区内10公園の藤棚の日常的な維持管理に加えて、冬季の藤棚剪定については専門家へ委託して実施する公園（6年度：5公園）を増やすことで藤棚の再生を図っていきます。（通年）

② 専門家による鉢植え藤の管理講習会

より身近に藤を感じてもらえるよう、鉢植えでも生育が可能で、幼木のうちから開花する性質を持つ藤（一才藤）の普及啓発を図ります。

区民の方へ藤の魅力を伝えていくため、広報等も活用しつつ、鉢植え藤の育て方等について学ぶことができる講習会（6年度実施：10名参加）を、藤の専門家へ委託して開催します。（3月頃開催予定）

③ 藤に関連した取組の情報発信

令和元年度に発足した「藤の花再生プロジェクト」の取組に絡め、公園藤を含めた区内の藤棚スポットのPRや他の藤に関連した取組について、Xやホームページ等を活用して随時情報発信を行います。（通年）
（4月には区ホームページで藤の開花情報を発信）

(2) 公園・施設等の緑化推進(3,799千円)

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

区内32公園において花苗や球根の提供を行いつつ、公園愛護会や地域の子どもたちにも参加してもらう形で協働による花苗植えを引き続き行っています。

加えて、季節の移り変わりを感じてもらえる花苗等の選定に加え、宿根草を組み合わせることで植替え時の手間や費用を抑える持続可能な取組としていきます。（年2回、32公園）



戸部公園の藤棚開花状況(4月21日)



管理講習会の様子



宮ヶ谷公園での花苗植えの様子

安全・安心なまちづくり

ケ 西区 みんなでエコアクション！推進事業

(地域振興課)

【予算額 3,851千円(前年度比 704千円増)】

横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、ごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を引き続き目指していきます。

「ヨコハマ プラ5.3（ごみ）計画」に基づき、脱炭素社会の実現に向け新しいプラスチックごみの分別ルールの定着や使い捨てプラスチックの削減（リデュース）などに取り組み、身近な脱炭素への取組を各家庭で取り組んでいただけるよう、丁寧に呼びかけていきます。

また、対面を中心とした環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、豊かな地球環境を次世代に残すため事業効果の最大化を図ります。

さらに、GREEN×EXPO2027開催に向け首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺地区をはじめとして、きれいな街づくりを推進し、美化・清掃活動を積極的に行います。

(1) 環境に配慮した行動推進事業(1,110千円)

① ごみの減量・リサイクルの推進、ごみの発生抑制、食品ロス・手つかず食品の削減、プラスチック削減

環境行動推進本部総会及び西区環境行動功労者表彰を実施し、3Rの推進に功労のあった個人又は団体に対し表彰を実施します。（6月19日表彰式実施予定）

■参考 R6年度 個人 7名、団体無し



令和6年度 表彰式の様子

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広く関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時に環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用します。

また、企業と連携した取組として、環境問題を身近に感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを、にぎわいを見せる横浜駅西口で実施します。（JR横浜タワー2階アトリウム6月14日予定）

■参考 R6年度 店頭啓発実施回数 7回



プラスチックフリー啓発物品の例

デジタルサイネージを活用した啓発では企業と連携し、フードロス問題と防災を絡めるなど、区民の関心の高い内容で行うことにより、効果的な啓発を引き続き実施していきます。

■参考 無印良品 NEWoMan YOKOHAMA店



デジタルサイネージを活用した視認啓発の例

② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座の実施。

講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童のリサイクルに対する理解度を高めています。

分別ルールの変更なども取り入れ、子育て世代をターゲットに分別ルール変更の認知度向上にも取り組みます。



リサイクル講座（エコキャンドル作り）の様子
（一本松小学校放課後キッズクラブ）

(2) 清潔できれいな街づくり推進事業（2,741千円）【拡充】

① 地域清掃活動の支援

- ・自治会・町内会へ清掃用具の配布。（8月頃配布予定）
- ・区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献清掃活動の支援。
- ・企業・団体等による清掃活動（WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER 令和7年3月末：80団体）の支援と、横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに！」キャンペーン（雨天中止）、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施。



横浜平沼高校生徒による清掃活動



クリスマス清掃イベント



スマートごみ箱「SmaGO」

□ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)(生活衛生課)
【予算額 20,285千円(対前年度比 7,755千円増)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向けて、横浜市地震防災戦略（令和7年3月改定）も踏まえ、地域防災拠点訓練や防災・減災啓発活動等を実施し、地域防災拠点の機能強化及び自助・共助の推進を図ります。

また、各種災害に備え関係機関と連携した防災訓練を実施するなど区本部機能を強化するとともに近年増加する局地的大雨に対応できるように河川水位情報伝達システムを更新します。

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,160千円)【拡充】

① 円滑な避難所運営に向けた支援

円滑な地域防災拠点(以下、「拠点」)が運営できるよう、資機材や備蓄品の維持管理に努めます。

② 地域防災拠点訓練の実施と多様な避難者への対応支援

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(各拠点 年1～2回 実施時期：通年)

地域防災拠点において多様なニーズ（妊娠婦・乳幼児、高齢者、障害者、外国人等）に対応できるように、関係する各課、団体等と連携した支援を行います。また、ペット同行避難者への対応支援として、各拠点にペット一時飼育場所開設キットを配付します。



浅間台小学校地域防災拠点訓練
(令和6年度)

(2) 区本部の防災機能強化(15,727千円)【拡充】

① 震災・風水害対策の強化

災害シミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部機能を強化するとともに、区社会福祉協議会と連携し災害ボランティアセンターの設置訓練等を実施します。さらに帰宅困難者対策として帰宅困難者一時滞在施設に対し受け入れシミュレーション訓練を実施します。

- ・風水害対策訓練(5月16日実施 参加26人)
- ・震災対策訓練 (6月、1月)
- ・災害ボランティアセンター設置訓練 (10月)
- ・帰宅困難者受け入れ訓練 (6～8施設、12月)



震災対策本部訓練
(令和6年度)

② 河川水位情報伝達システムの更新

河川の水位が上昇した際に周辺住民等に対して水位情報や避難指示を発報するため平成17年度に設置した、河川水位情報伝達システム（情報処理装置及びスピーカー5カ所）の更新を実施します。



河川スピーカー位置図

③ 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)や医療救護隊巡回訓練及び医療救護隊検討会、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会(2～3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(3,398千円)

① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

相談者の満足度が非常に高い、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。

令和7年6月22日（日）、23日（月）（計12組予定）

西区役所



崖地相談会の様子（令和6年度）

② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカーの購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、自治会・町内会等への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携して啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考：過去3年の実績

【感震ブレーカー補助実績】

- ・令和4年度： 2団体・90個
- ・令和5年度： 2団体・15個
- ・令和6年度： 4団体・174個

【初期消火器具更新実績】

- ・令和4年度： 1団体・1基
- ・令和5年度： 2団体・2基
- ・令和6年度： 1団体・1基

③ 区民への防災・減災の普及啓発

多世代への防災・減災啓発を目的に、消防、警察等と連携して防災イベントを実施します。（10月）

また、赤ちゃん教室での防災講話（年9回）の新規実施、子育て世代への防災啓発グッズの配布（令和7年5月末：125個）、日本語教室などの場を活用した在住外国人への啓発、広報よこはま西区版で防災特集による啓発、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーなど、あらゆる機会を捉え、防災啓発を実施します。



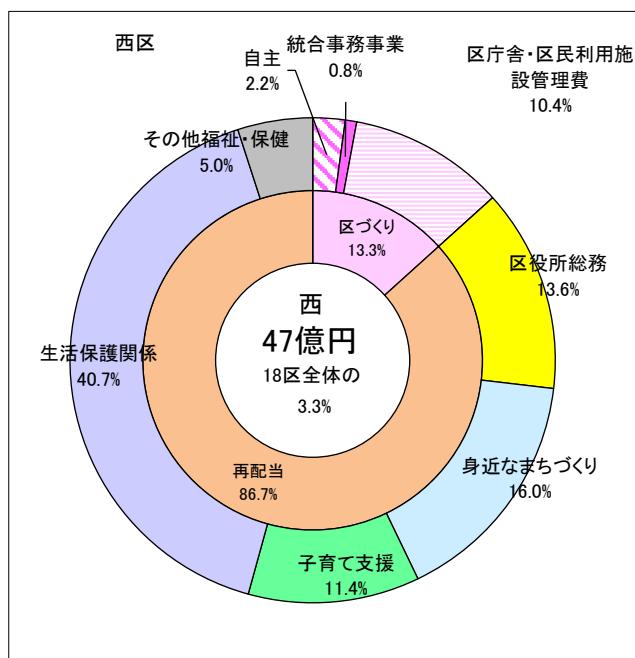
防災イベントの様子（令和6年度）



子育て世帯への防災啓発グッズ（令和6年度）

3-(3) 西区に係る予算のすがた（令和7年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市的一般会計の規模は1兆9,844億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人事費を除く）は1,411億円です。この区が執行している予算に焦点をあてて、各区が主に税金を用いて、どれだけの事務事業を行っているかを示します。



注：各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

西区の予算の特徴

令和7年度一般会計予算の中で、西区の人事費を除く区が執行している予算の規模は、約47億円となっており、18区全体の予算のおよそ3.3%を占めています。これは、単純に区民1人当たりに換算すると、43,285円を支出していることになります。

そのうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は約6億2千万円となっており、西区に係る予算の約13.3%となっております。「個性ある区づくり推進費」の中でも「区庁舎・区民利用施設管理費」の割合が高くなっています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算の再配当を受け区が執行している「再配当予算」で、西区全体の約86.7%に及びます。その中でも特に「生活保護」に係る予算は約19億円となっており、再配当予算の半分近くを占めています。また、保育所の運営費や放課後児童健全育成など「子育て支援」に係る経費は約5億円で西区全体の11.4%を占めています。「身近なまちづくり」として約7億円、西区全体の16%を占めている予算は、土木事務所が執行する予算で、身近な道路・公園等の管理運営に係る経費となっております。

このように西区の予算は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための自主企画事業を始め、局からの予算の再配当を受け、局に代わり区民生活に密着した福祉や保健、子育て、身近なまちづくりなど、区民生活を支える重要な事務事業を担っています。

主な事業内容

(単位:百万円)

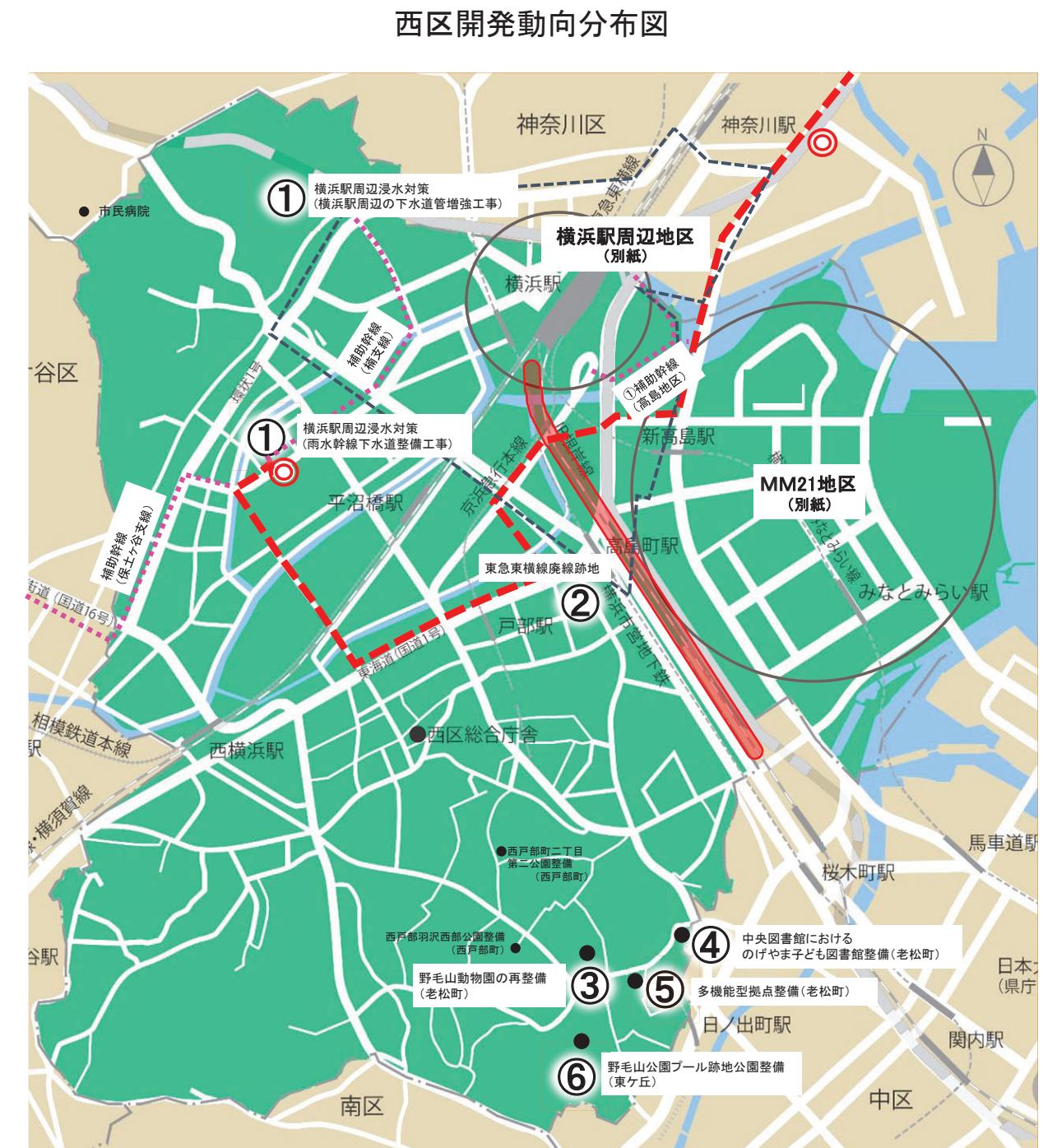
分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	621	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	101	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	35	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	485	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
再配当予算	4,046	局からの予算再配当を受け、区が執行している予算
区役所総務費	633	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	475	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	14	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	3	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	141	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	747	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 887 百万円
道路修繕費等	643	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	1	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(140)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などをています。
公園管理費等	102	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	533	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費
市立保育所運営	19	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	404	放課後キッズクラブ運営のための補助金等
地域子育て支援拠点等	111	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	1,901	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生 活 保 護	1,883	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。(対象見込み世帯1,452世帯)
生活困窮者自立支援	18	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	233	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	62	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関する経費の助成などをいます。
高齢者福祉	28	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関する経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などをいます。
地域ケアプラザの管理運営等	143	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	4,667	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 4,807 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの再配当額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への再配当額が未定のため、区へ再配当する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)

【参考】西区における開発動向等

地図	概 要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線下水道整備工事事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(約60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(82mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線の整備を進めています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、岡野公園の野球場の一部に雨水幹線の立坑を設置する工事を行っています。令和5年12月に雨水幹線のシールド工事にも着手し、現在、神奈川区の神奈川公園内で、シールドマシンが発進するための立坑を設置する工事を行っていて、<u>令和7年秋頃の発進予定です。また、今後楠ポンプ場と岡野公園を結ぶ楠支線等の補助幹線について令和8年度の発注に向け設計を進めます。</u>供用開始は令和12(2030)年度を予定しています。 また、新たに整備する雨水幹線に横浜駅周辺の約140ヘクタールに降った雨を取り込むため、地域の雨水を排水している下水道管の増強などの工事を実施していきます。令和7年度からは事前調査として管きよの測量及び他企業の地下埋設物等の位置を確認するための試掘工事を実施します。また、この結果を元に設計を進め、7年度後半からは本格的な下水道工事に着手していきます。</p>
②	<p>東急東横線廃線跡地 令和元年7月に供用開始した桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間については、各種イベントの開催など利活用を行っています。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。 7年度は、補強等が困難な浅山橋交差点から高島町交差点までの構造物の撤去工事を進めるとともに、遊歩道として活用する既存構造物の補強・補修設計や、魅力ある歩行者空間を目指し路線の基本計画の見直しを進めます。</p>
③	<p>野毛山動物園の再整備 野毛山動物園リニューアルの先行整備として、ふれあいコーナーへの屋根設置やなかよし広場の休憩所の建替え、園内トイレの改修等を行い、<u>令和7年4月22日に供用開始しました。</u> 引き続き、リニューアルプランに基づき、バリアフリーへの対応、老朽化対策、動物の飼育環境の改善など、更なる魅力向上に向けて取り組みます。</p>
④	<p>中央図書館におけるのげやま子ども図書館整備 中央図書館1階を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる、居心地の良い“子ども図書館”としてリニューアルします。また、誰もが使いやすい図書館となるようインクルーシブな環境づくりを進めます。 <u>「おやこフロア」を令和7年4月22日にオープンしました。</u>引き続き「子どもフロア」の整備を進めます。</p>
⑤	<p>多機能型拠点整備（旧青少年交流センター跡地） 西区老松町の旧青少年交流センター跡地を市内5館目の多機能型拠点整備用地とし、運営法人の公募を実施しています。（令和10年度開所予定）</p>
⑥	<p>野毛山公園プール跡地公園整備（土地面積 約6,200m²） プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。 引き続き、周辺のまちづくりの動向をふまえ検討を行います。</p>



【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口

①中央西口駅前広場については、JR横浜タワー前の屋根を令和3年6月に、高島屋前屋根を令和5年1月に供用開始し、中央西口駅前広場における屋根整備は完了しました。GREEN×EXPO2027の開催に向け、今後舗装等の駅前広場整備を進めます。

②きた西口駅前広場については、令和6年9月に屋根工事が完了しました。GREEN×EXPO2027の開催に向け、今後広場の高欄・舗装・植栽等の整備を進めます。

横浜駅東口

横浜中央郵便局周辺における民間街区（ステーションオアシス地区の東側エリア）について、日本郵政不動産、JR東日本、京急電鉄を事業協力者として、令和6年6月に市街地再開発準備組合が設立され、組合において早期事業化に向けて、事業計画などの検討を進めています。

また、出島地区について、東口臨海地区連絡協議会を令和6年7月に再開し、中長期の視点での将来像の検討を進めています。

これらに関連する施設として、駅前広場やデッキ、支線1号線等、東口全体の基盤整備計画について横浜市を中心となり検討を行っています。

① 中央西口駅前広場	令和元（2019）年7月～ 令和3（2021）年6月 JR横浜タワー前の屋根全体が供用開始 令和5（2023）年1月 横浜高島屋前の屋根完成 令和7（2025）年6月～駅前広場舗装・スロープ工事
② きた西口駅前広場	令和元（2019）年7月～ 令和3（2021）年4月 エレベーター供用開始 令和6（2024）年9月 屋根完成 令和7（2025）年6月～高欄設置工事着手
③ 横浜駅きた西口鶴屋地区（再開発ビル）	事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等 平成29（2017）年度 再開発組合設立 令和元（2019）年度 建築工事着手 令和5（2023）年度 再開発建物竣工 令和6（2024）年度 交通広場供用開始 令和7（2025）年度 事業完了予定
④ 横浜駅みなみ東口地区（ステーションオアシス）	事業者：横浜駅みなみ東口地区市街地再開発準備組合 階数・高さ（予定）：地上45階/地下3階、約218m 用途（予定）：オフィス、商業、ホテル等 令和6（2024）年6月 市街地再開発準備組合設立 令和7（2025）年4月 環境アセスメント手続開始 令和10（2028）年度 工事着手（予定） 令和19（2037）年度 竣工（予定）

【全体スケジュール】

令和元（2019）年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
12月	西口地下街中央通路接続事業（馬の背解消）新設通路開通
令和2（2020）年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
8月	JR横浜駅改札内通路整備完了
12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了
令和3（2021）年10月	②きた西口駅前広場 屋根工事着手
令和4（2022）年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手

令和4（2022）年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手
令和5（2023）年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根完成→中央西口駅前広場屋根全面供用開始
令和6（2024）年3月	③横浜駅きた西口鶴屋地区の再開発建物竣工
6月	④横浜駅みなみ東口地区市街地再開発準備組合設立
7月	内海川跨線人道橋撤去工事完了
9月	②きた西口駅前広場 屋根完成
令和7（2025）年3月	③横浜駅きた西口鶴屋地区 交通広場供用開始
6月	①中央西口駅前広場 舗装・スロープ工事着手
6月	②きた西口駅前広場 高欄設置工事着手



【参考】西区における開発動向等（みなとみらい21地区）

<p>赤① 19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【先端部等の整備】 事業主体：港湾局 規模等：約1.5ha 施設：歩行者デッキ（橋梁・園路） 緑地、藻場・浅場 竣工：令和8（2026）年3月予定（歩行者デッキ）</p>	<p>赤② 19の一部：カフェ・レクリエーション施設の整備</p> <p>事業主体：臨港パークプロジェクトチーム (代表企業) 株式会社ドラフト (構成企業) 株式会社伊佐建設 スプリングハズカム合同会社 規模等/高さ：地上3階 建築面積：約600m² 施設：ベーカリー・カフェ、野外レクリエーション支援機能を併せ持つレストラン 竣工：令和7（2025）年度予定</p>
<p>赤③ 52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画</p> <p>事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社 株式会社光優 規模等/高さ：地上29階、地下2階/約180m 敷地/延床面積：約11,800m²/約115,000m² 施設：オフィス、オープンイノベーションスペース、ゲームアートミュージアム、店舗等 竣工：令和9（2027）年5月予定</p>	<p>緑① 60・61の一部-みなとみらい大通り：高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3（2021）年10月 竣工：令和7（2025）年度末予定 (令和7（2025）年3月暫定開通)</p>
<p>青① 62：（仮称）HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：ベルジャヤ横浜スピタリティアセット特定目的会社 規模等/高さ：地上14階、地下1階/約60m 敷地/延床面積：約22,000m²/約88,500m² 施設：ホテル＆ホテルコンドミニアム、デジタル水族館、ミュージアム、店舗等 着工：令和7（2025）年7月予定 竣工：令和10（2028）年9月予定</p>	<p>青② 60・61：MM60・61プロジェクト</p> <p>事業主体：MM60・61特定目的会社※、学校法人岩崎学園 ※(株)ケン・コーポレーション、SMFLみらいパートナーズ(株)、鹿島建設(株)で構成 規模等/高さ：(東区画)地上26階、地下1階/約100m (西区画)地上13階、地下1階/約60m 敷地面積：約23,000m² 延床面積：(東区画)約131,000m² (西区画)約25,000m² 施設：(東区画)オフィス、ホテル、ミュージアム、商業施設 (西区画)専門学校 着工：令和8（2026）年3月予定 竣工：令和10（2028）年8月予定（西区画） 令和11（2029）年2月予定（東区画）</p>



赤色：建設中
青色：計画中
黄色：市有地(未利用)
緑色：竣工